

一般社団法人日本腎臓学会 平成 26 年度事業概要報告

1. 学術集会の開催

◎第 57 回日本腎臓学会学術総会

総会長：渡辺 毅

福島県立医科大学腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科学講座主任教授

会 期：平成 26 年 7 月 4 日（金）～6 日（日）

会 場：横浜市 パシフィコ横浜 会議センター

テーマ：「～全身を診る腎臓学～」

参加者：5,441 名

サテライトシンポジウム

会 期：平成 26 年 7 月 27 日（日）

会 場：福島市 コラッセふくしま

テーマ：「生活習慣と腎疾患」

参加者：70 名

○第 44 回日本腎臓学会東部学術大会

大会長：内田俊也 帝京大学医学部 内科 教授

会 期：平成 26 年 10 月 24 日（金）・25 日（土）

会 場：東京都 ベルサール新宿グランド

テーマ：「腎臓学の高みをめざして」

参加者：1,655 名

○第 44 回日本腎臓学会西部学術大会

大会長：中西 健 兵庫医科大学 内科学腎・透析科 主任教授

会 期：平成 26 年 10 月 3 日（金）・4 日（土）

会 場：神戸市 神戸国際会議場・神戸商工会議所

テーマ：「腎生貫徹」

参加者：1,201 名

2. 出版事業

1) 学会誌：日本腎臓学会誌の発行（年 8 号）

：Clinical and Experimental Nephrology の発行（年 6 号）

：CEN Case Reports の発刊（年 2 号）

2) 「エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2013」発刊、英訳ダイジェスト版の発刊

3) 「慢性腎臓病に対する食事療法基準」の発刊

4) 「血尿診断ガイドライン 2013」発刊、英訳版の発刊

5) 「腎疾患患者の妊娠－診療の手引き改訂版」の作成作業中

6) 「がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン」の作成作業中

7) 「KDIGO ガイドライン日本語全訳版」の発刊

8) 「非典型溶血性尿毒症症候群診断基準」改訂版作成作業中

9) 「AKI 診療ガイドライン」の作成作業中

3. 腎疾患に関する調査・研究

1) 厚生労働省

①難治性疾患等克服研究事業「かかりつけ医/非腎臓専門医と腎臓専門医の協力を促進する慢性腎臓病患者の重症化予防のための診療システムの有用性を検討する研

究」の研究成果発表

- ②難治性疾患等政策研究事業「難治性疾患に関する調査研究」の研究成果発表
 - ③難治性疾患等実用化研究事業「糖尿病性腎症ならびに腎硬化症の診療水準向上と重症化防止に向けた調査研究」の研究成果発表
 - ④腎疾患重症化予防実践事業（委託事業）：「北海道・東北・関東地方」、「中部・近畿地方ブロック」および「中国・四国・九州地方ブロック」
 - ⑤障害者対策総合研究開発研究事業「腎機能障害者の生活活動性を維持するための安全で効果的な腹膜透析法の普及のための対策」の調査研究
- 2) 内閣官房「どこでも MY 病院構想：腎臓疾患に関するデータセット」の普及促進
 - 3) 腎臓病健診のあり方の検討
 - 4) 腎臓病総合レジストリーの構築
 - 5) 登録腎生検予後調査
 - 6) IgG4 関連腎臓病の研究
 - 7) 腎病理標準化の推進
 - 8) 各学会との合同委員会による慢性腎臓病など腎疾患の調査・検討
日本糖尿病学会、日本透析医学会、日本人間ドック学会、日本医学放射線学会、日本医師会、日本薬剤師 4 団体など
 - 9) JSN と KDIGO の共催で日本と KDIGO のガイドラインを比較しガイドラインの普及啓発と実行（implementation）に関する検討会を開催
 - 10) 日本 CKD コホート研究終了後の継続予後調査に関する研究

4. 普及・啓発・後援

- 1) 慢性腎臓病（CKD）の予防・診断・治療に関する講演会開催
- 2) 市民公開講座の開催
 - ・平成 26 年 7 月 13 日(日) 福島市：こむこむ
- 3) 学生・研修医のための教育セミナー
 - ・平成 26 年 7 月 5 日(土) 横浜市：パシフィコ横浜会議センター
 - ・平成 26 年 10 月 4 日(土) 神戸市：神戸国際会議場
 - ・平成 26 年 10 月 25 日(土) 東京：ベルサール新宿グランド
- 4) 臨床研修医のための腎臓セミナー
 - ・平成 26 年 8 月 2・3 日 第 19 回臨床研修医のための腎臓セミナー
：新潟 新潟チサンホテル、担当責任者 成田一衛(新潟大)
 - ・平成 27 年 2 月 28 日・3 月 1 日 第 20 回臨床研修医のための腎臓セミナー
：東京 灘尾ホール、担当責任者 要 伸也(杏林大)
- 5) 腎臓専門医受験のための教育セミナー
 - ・平成 26 年 7 月 6 日(日) 横浜市：パシフィコ横浜 会議センター
- 6) 第 9 回腎病理夏の学校
 - ・平成 26 年 8 月 30 日(土)・31 日(日) 神戸：神戸大学
- 7) 世界腎臓デー慢性腎臓病啓発イベント(慢性腎臓病対策協議会后援)
 - ・平成 27 年 3 月 キドニーウォーク
 - ・平成 27 年 3 月 主要都市での検尿キット配布とキャンペーン
 - ・平成 27 年 3 月 「CKD に関する講演会(慢性腎臓病対策協議会主催)」
 - ・平成 27 年 3 月 「CKD に関するシンポジウム(厚生労働省主催)」
- 8) 都道府県における「CKD 啓発イベント(慢性腎臓病対策協議会主催)」
- 9) 男女共同参画推進に関する活動
 - ・平成 26 年 7 月 5 日(土) 第 57 回学術総会
「テーマ 大規模災害・復興における学際的男女共同参画の果たす役割」
 - ・平成 26 年 10 月 3 日 第 44 回西部学術大会
「テーマ 問題は出産育児だけではない」
 - ・平成 26 年 10 月 25 日 第 44 回東部学術大会

「テーマ 男女共同参画の温故知新一次なるキャリアプランについて考える」

10) 厚生労働省、全腎協全国大会、日本慢性腎臓病対策協議会など各団体への後援

11) 「腎不全 治療選択とその実際 2014 年版」の小冊子配布

5. 国際交流

1) 第 14 回アジア太平洋腎臓学会(APCN2014)が開催された。

2) 腎病理国際学会 2015 が開催された。

3) 日中韓腎カンファレンスは計 6 回開催されているが本年度は、ASN 開催中に今後の予定について協議を行い第 57 回学術総会中に開催した。

4) 第 8 回 AFCKDI 総会が、平成 26 年 5 月 16 日に東京品川プリンスホテルで開催された。

5) ISN と JSN の joint conference について、平成 26 年度第 57 回学術総会の「アジア国際交流の夕べ」を拡大して開催した。

また、グローバル連携強化委員会の活動として、第 57 回学術総会「アジア国際交流の夕べ」を支援した。

6) APSN の CME 活動として、第 57 回学術総会の直前にアジア諸国の関係者を招請し、CME を開催した。

7) アメリカ腎臓学会会期中に Leadership meeting が行われた。

8) SRC の活動として、平成 26 年 11 月 24 日から 27 日までの 4 日間ベトナムでの CKD prevention program として、今回は腎生検病理の講義実習・等を中心に行った。

10) 第 58 回日本腎臓学会学術総会（松尾総会長）および第 52 回 ERA/EDTA 学術総会において、JSN-ERA/EDTA joint symposium を行うことを決定した。

6. 褒賞および研究業績の顕彰

1) 大島賞の授与

2) 優秀論文賞の授与

3) 日本腎臓学会奨学プログラムの授与

4) 上田賞の授与

7. その他の事業

1) 腎臓専門医・指導医、研修施設の認定を行った。

2) 平成 27 年 2 月 7 日(土) 第 23 回腎臓専門医試験を行った。

3) 日本医師会糖尿病対策合同会議に参画し、「糖尿病性腎症」のテーマに取り組んだ。

4) 学会主導の学術総会の推進を行っている。

5) 腎臓病療養指導士制度の検討を行っている。

6) 先行的腎移植を希望する献腎移植の登録システム構築し審査を継続している。

7) 平成 28 年度診療報酬改定に向け第一次提案書を提出した。

8) 一般社団法人移行に伴い電子公告が可能となるため、会員のメール登録を強化・拡充を図った。

9)

以上